

よりよい地域の学びの機会を考える

関連キーワード: 教育制度、図書館、地域づくり、まちづくり

研究内容

- ・公共図書館が地域において果たす役割についての研究
公共図書館が果たす役割は、地域における文化の振興などに限らず、情報提供を通じた地域の産業振興やまちづくり、個人が抱える課題解決の支援などさまざまなものがあります。
自治体の取り組みの中でこのような図書館の役割がいかに関与され、またどのような期待があるのかを事例調査を通じて明らかにしています。
- ・生涯学習推進体制の変容についての研究
自治体が設置する図書館の運営形態は、21世紀に入って大きく様変わりしています。そのような事例の調査を通して、生涯学習に関わる制度面での変容が、実際の図書館サービスに対してどのような影響を与えているのかを研究しています。
また、このような変化には、企業や地域のさまざまな団体が公的な業務に関わるようになることも含まれています。NPO法人、地縁団体、企業などが生涯学習推進に関わる事例の調査を通して、地域における学びの機会がどのように運営されているのか、そこにはどのようなメリット／デメリットがあるのかを研究しています。
- ・地域における学びの機会についての研究
以上のような取り組みの背景には、地域における学びの機会をどのように用意するのか、例えば地域的な格差や、人による利用しやすさの違いなどをどのように乗り越えるのか、といった課題が存在する場合があります。そのような課題についても研究を行っています。

研究者プロフィール

- ・地域総合学部 地域コミュニティ学科 准教授 泉山靖人
- ・専門分野 教育制度論、図書館情報学
- ・所属学会 日本教育学会、日本教育制度学会、日本図書館情報学会、日本図書館文化史研究会ほか
- ・主な学外における活動
日本教育制度学会 研究担当理事（生涯学習）（2020～）、仙台市社会教育委員（2022～）
- ・主な著書等
『日本の図書館の歩み 1993-2017』（共著、2021年、日本図書館協会）、『生涯学習：多様化する自治体施策』（共著、2010年、東洋館出版社） など

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・さまざまな地域の公共図書館やそれを取り巻く地域づくり・まちづくりの取り組みなどを地域で活動する団体（NPOなど）なども含めて研究してきました。
- ・また、指定管理者制度など制度的な面からも社会教育施策を研究してきました。
- ・このような経験から得られた知見を基盤として、また他の地域の事例の調査等をおこないながら、これからの地域の学び機会のあり方を検討・構想できればと思います。

研究者への連絡先

産学連携推進センター
Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話 022-354-8122